予算特別委員会での審査

令和7年度一般会計補正予算案（第13号）および国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の3特別会計補正予算案、令和8年度一般会計予算案および3特別会計予算案ならびに下水道事業会計予算案は、予算特別委員会で5日間にわたり審査されました。

本面上段では委員会での審査概要、4・5面上段では歳出を中心とした主な質疑の内容をお知らせします。

予算特別委員会では、7年度補正予算案の審査、8年度当初予算案の総括説明および説明に対する質疑、歳出を中心とした審査が行われました。

8年度一般会計予算案は、歳入歳出それぞれ540億2200万円で前年度比32億6200万円、6.4%の増、3特別会計と合わせた総額は821億7466万5千円、前年度比45億7539万5千円、5.9%の増となりました。下水道事業会計は、収益的収支のうち収入が26億6349万4千円、支出が26億6732万3千円、資本的収支のうち収入が6億5320万9千円、支出が12億4437万9千円となりました。

8年度予算編成の基本方針として、50年先を見据えた「まちづくりの視点」をもち、市の発展に資する「新しい魅力」の創出と「ウェルビーイング」の向上、「あんしんして暮らせるまち」に結び付く取り組みを推し進めるため、未来志向の公共施設マネジメント、人にやさしいデジタル化、こどもたちへの投資の3点の重点事項に加え、新たな付加価値を創出する見地をもって各種事業に取り組むことなどが掲げられました。

具体的事項として、①歳入について、経済情勢を的確に把握分析し、さらに精度を向上させた年間収入見込額を見積もることなど5項目、②歳出の見積もりについて「財政健全経営計画実行プラン」に示した事項は年次スケジュールに従い確実に反映させること、事業実施に伴う経費は、特定財源の確保および実施体制と手法のさらなる精査を行い、一般財源を抑制することなど8項目、③普通建設事業の要求について、公共施設については当面の施設保全および法令その他による工事として選定された事業に基づく要求とし、整備の内容等を十分に精査した上で要求することなど2項目、④基金の活用等について、財政調整基金は、災害発生時や年度中の資金繰りに備え一定額の積み立てが必要であることを考慮し処分規定に沿い適切に活用することなど2項目、⑤各特別会計の予算編成は、一般会計に準じて適切に見積ること、などが掲げられました。

一般会計および特別会計予算額

区分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	増減率
一般会計	540億2,200万円	507億6千万円	6.4%
特別会計	281億5,266万5千円	268億3,927万円	4.9%
国民健康保険特別会計	115億5,472万7千円	114億2,273万9千円	1.2%
後期高齢者医療特別会計	43億3,277万8千円	39億7,661万6千円	9.0%
介護保険特別会計	122億6,516万円	114億3,991万5千円	7.2%
合計	821億7,466万5千円	775億9,927万円	5.9%

下水道事業会計予算額

下水道事業会計		令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	増減率
収益的収支	収入	26億6,349万4千円	24億3,899万2千円	9.2%
	支出	26億6,732万3千円	24億275万円	11.0%
資本的収支	収入	6億5,320万9千円	14億4,168万3千円	△54.7%
	支出	12億4,437万9千円	20億4,171万7千円	△39.1%

基金の状況

区分	令和8年度末現在高見込	令和7年度末現在高見込	増減額	備考
財政調整基金	23億7,178万7千円	37億1,674万円	△13億4,495万3千円	繰入金 13億5,321万円
減債基金	2,395万4千円	1億7,552万1千円	△1億5,156万7千円	繰入金 1億5,198万6千円
特定目的基金	73億4,324万7千円	60億1,510万6千円	13億2,814万1千円	
郷土美術館建設基金	1億7,849万7千円	1億7,769万7千円	80万円	繰入金　0円
みどりの基金	9億805万7千円	8億9,056万8千円	1,748万9千円	繰入金 1,084万2千円
ふるさと創生基金	6,808万6千円	6,887万3千円	△78万7千円	繰入金 104万5千円
公共施設等整備基金	29億3,364万1千円	30億4,566万9千円	△1億1,202万8千円	繰入金 1億2,313万円
自転車等駐車場整備基金	3,737万5千円	3,724万5千円	13万円	繰入金　0円
教育振興基金	10億1,605万5千円	2,252万9千円	9億9,352万6千円	繰入金 1億9,455万9千円
都市計画事業基金	21億9,875万7千円	17億5,361万7千円	4億4,514万円	繰入金　0円
森林環境譲与税基金	277万9千円	1,890万8千円	△1,612万9千円	繰入金　1,620万円
合計	97億3,898万8千円	99億736万7千円	△1億6,837万9千円	繰入金 18億5,097万2千円

※△はマイナスを表します

予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論（要旨）

3面～5面の上段に掲載した予算特別委員会の審査を経て、3月26日の本会議で令和8年度予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論が行われました。3面～5面の下段で要旨を掲載します。各会派の賛否は8面をご覧ください。

市民クラブ

将来を見据えた予算編成を高く評価し賛成

富田市長の2期目の任期最初の予算である。

本市を取り巻く状況は大変厳しい状況であるが、持続可能なまち東久留米市に変貌するためには今こそ改革が必要であり、失敗を恐れない挑戦を続け、50年先の未来をつくっていく思いは一緒である。

令和8年度予算の一般会計の財政規模については540億2200万円、令和7年度の予算額と比べ32億6200万円、6.4%増となり、東久留米市として過去最大の当初予算となった。

物価高騰による厳しい財政状況の中、歳出の精査を行い、重点施策に資源を配分した、将来を見据えた編成であると評価している。

生産年齢人口の大きな減少が差し迫る中、老朽化した公共施設を現在の規模のまま維持することは不可能であり、早急に財政的に持続可能な公共施設の規模や業務内容を検討する必要があると考える。

次の50年へのまちづくりの礎を築くことは大変厳しい課題ではあるが、未来志向による公共施設マネジメントを適切に進めていくことを要望する。

最後に、昨年同様に基金を大きく取り崩しながら市債の借り入れは抑制し、税収および国の地方交付税交付金の増もあった。未来志向の公共施設マネジメントの推進、市民の利便性向上と市役所の効率性を高め、行政コストを削減するDXの推進、こどもたちが伸び伸びと健やかに育つ未来をつくるための投資等、次の50年を見据えた予算編成を行ったことは高く評価する。

以上を申し上げ、一般会計予算について賛成する。

国民健康保険特別会計予算は、適切な制度運営を要望し、賛成する。2特別会計予算および下水道事業会計予算は、特に意見を申し添えることなく賛成する。

公明党

「新しい東久留米」に向けた取り組みに期待！

令和8年度予算は事業手法の工夫や補助金活用により一般財源の抑制に努め、財政調整基金残高は一定程度確保できる見込みとなった。その努力を評価する。

未来志向の公共施設マネジメント、人にやさしいデジタル化、こどもたちへの投資を施策として落とし込んだ点に大きな意義がある。

未来志向の公共施設マネジメントについて、縮充の視点で集約化・複合化を進め、新たな価値を創出する方向性は、持続可能な都市経営に重要である。インフラの維持管理や防災対策などにも予算配分し、将来への責任を果たす内容である。

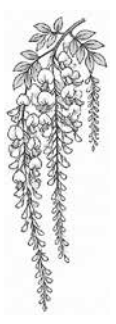
人にやさしいデジタル化については、行かない・書かない・待たない窓口の実現に向けた取り組みやキオスク端末の設置など、デジタル化と対面支援の両立を図る姿勢を高く評価する。

こどもたちへの投資についてはハード・ソフト両面の取り組みが展開されている。公園行政の推進と、地域課題・行政課題を同時に解決する視点および子供の広場への遊具等の整備実施も高く評価する。加えて学童保育への民間活力の導入など、多様なニーズに応える体制づくりも評価する。

また、障害福祉や生活保護などへの支援を確保し、防災・減災対策、環境施策、地域経済などの行政課題に対応している点も評価する。

今後は、これらの施策を実行し、行財政改革を進め、持続可能な財政運営を堅持することを強く求める。

以上申し上げ、一般会計予算に賛成し、特別会計予算、下水道事業会計予算については、特に意見を付すことなく賛成する。



日本共産党

予算組み替えで市民の願い実現を

予算特別委員会において、市民自治フォーラムの賛同を得て、一般会計予算案の組み替え案を提案した。

①平和事業の充実、②男女共同参画推進に向けた啓発事業の増額、③道の駅設置検討事業の見送り、④ちゅうおう保育園の公私連携型保育所移行にかかる事業者選定の中止、⑤児童発達支援センターわかくさ学園利用者が負担する食材料費相当額の無償化、⑥後期高齢者医療健康診査の自己負担500円の無料化、⑦家庭ごみ指定収集袋の価格を10分の5に引き下げ、⑧移動インフラのニーズ調査の実施、⑨市独自の学力調査の中止。

この組み替え案は賛成少数で否決されたが、引き続き市民の声を伺いながら、市民の願い実現のために力を尽くしていく。

4面へ続く